

=プレスリリース=

平成 25 年 5 月 29 日

**岩手県内新入社員の職業観と生活観
—平成 25 年新入社員意識調査より—**

標記について概要を取りまとめたので公表いたします。
なお、詳細は機関誌「岩手経済研究」25 年 6 月号に掲載予定です。

<調査要領>

1. 調査時期 平成 25 年 3~4 月
2. 調査対象 岩手県内事業所に勤務（予定含む）する新入社員等
3. 調査方法 当研究所主催の新入社員研修会等における無記名アンケート方式
4. 回答者数 合計 420 人

盛岡市中ノ橋通一丁目 2 番 16 号
一般財団法人 岩手経済研究所
理 事 長 高 橋 真 裕
経 営 相 談 部（担 当 佐 藤）
TEL 019 - 622 - 1212

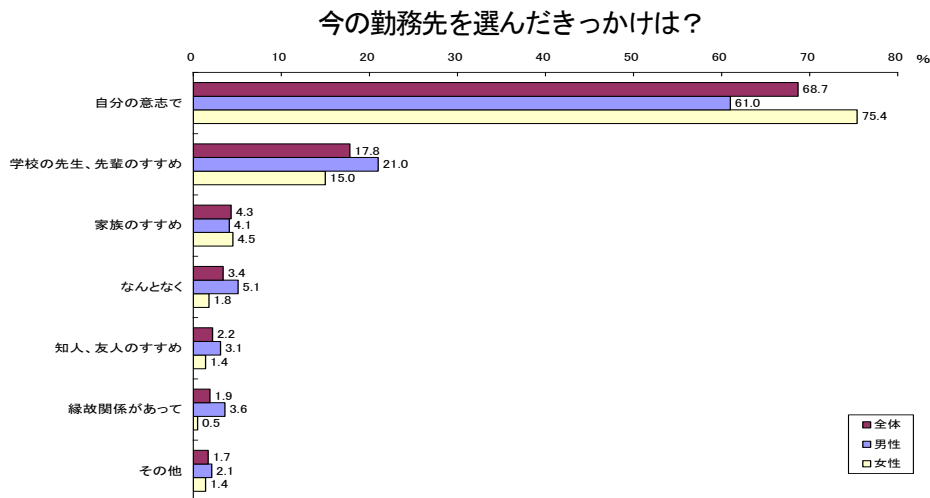
<調査結果の要約>

1. 職業観

<勤務先選択のきっかけ>

○「自分の意志で」が6割を超える

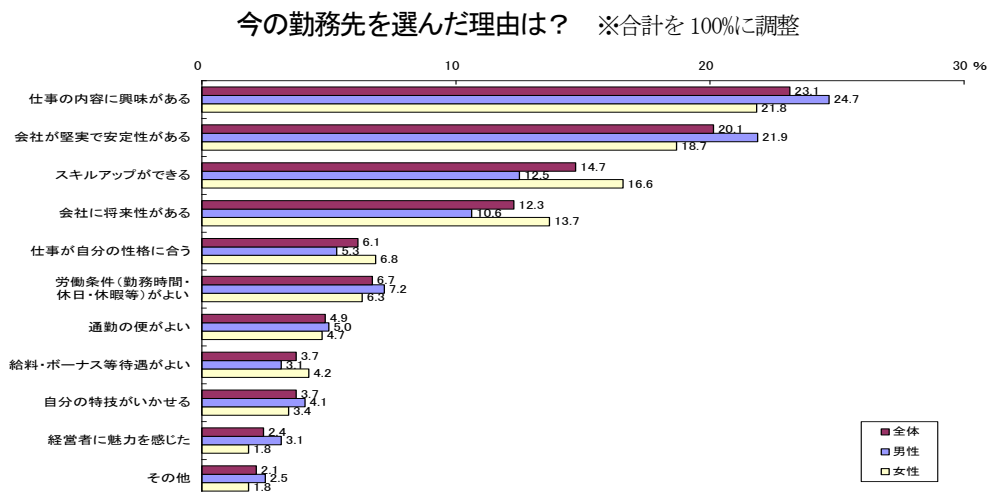
勤務先を選んだきっかけは、「自分の意志で」が68.7%（前年比0.1ポイント増）と最も高く、次いで「学校の先生、先輩のすすめ」17.8%（同5.3ポイント増）、「家族のすすめ」4.3%（同3.9ポイント減）となった。男女別では、「自分の意志で」と回答した女性の割合が男性を大きく上回った一方、「学校の先生、先輩のすすめ」は男性が女性を上回った。



<勤務先選択の理由>

○仕事の内容と堅実性、安定性を重視

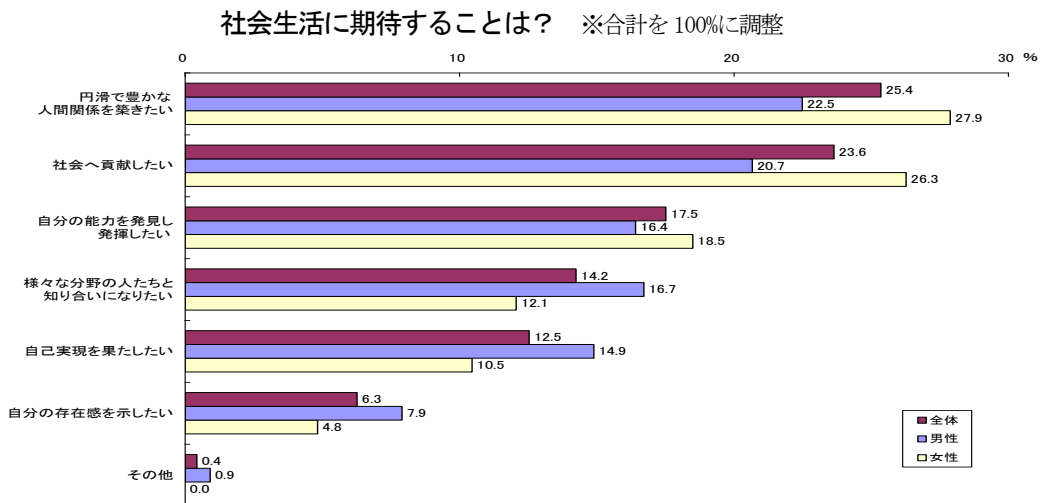
今の勤務先を選んだ理由（2つ以内の複数回答）は、「仕事の内容に興味がある」が23.1%（前年比1.8ポイント増）、「会社が堅実で安定性がある」20.1%（同1.4ポイント減）、「スキルアップができる」14.7%（同2.4ポイント増）、「会社に将来性がある」12.3%（同0.4ポイント増）の順となった。前年に引き続き、堅実性、安定性を重視しながらも、興味がある仕事に就きたいという志向が強いことがうかがわれる。



＜社会生活に期待すること＞

○円滑で豊かな人間関係を期待

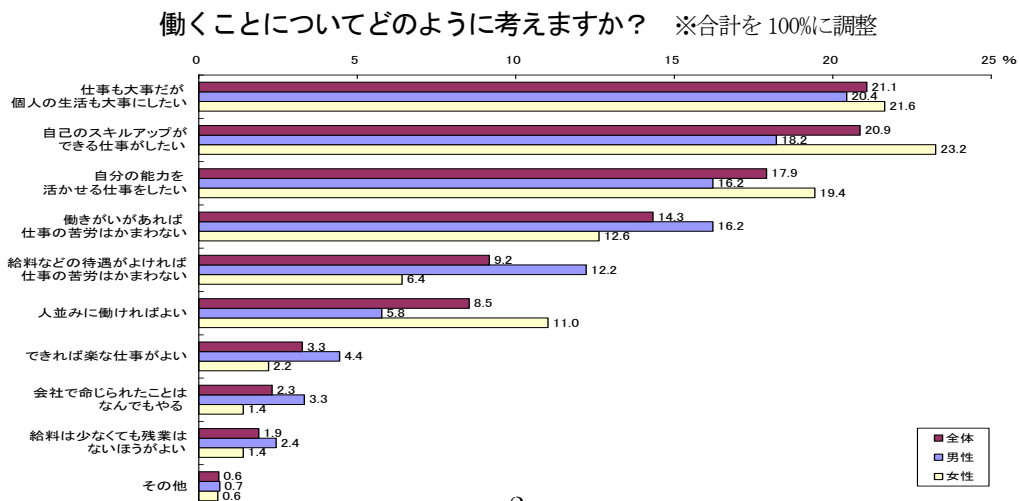
社会生活に期待すること（2つ以内の複数回答）は、「円滑で豊かな人間関係を築きたい」が25.4%（前年比0.4ポイント増）と最も高く、次いで「社会へ貢献したい」が23.6%（同0.7ポイント増）、「自分の能力を発見し発揮したい」17.5%（同0.2ポイント増）の順となった。前年から順位に変動はないものの、男女間での比較では、女性は上位3項目に集中しているのに対し、男性は「様々な分野の人たちと知り合いになりたい」など他の項目の割合も高く、回答は分散している。



＜働くことについての考え方＞

○仕事と私生活のバランスを重視

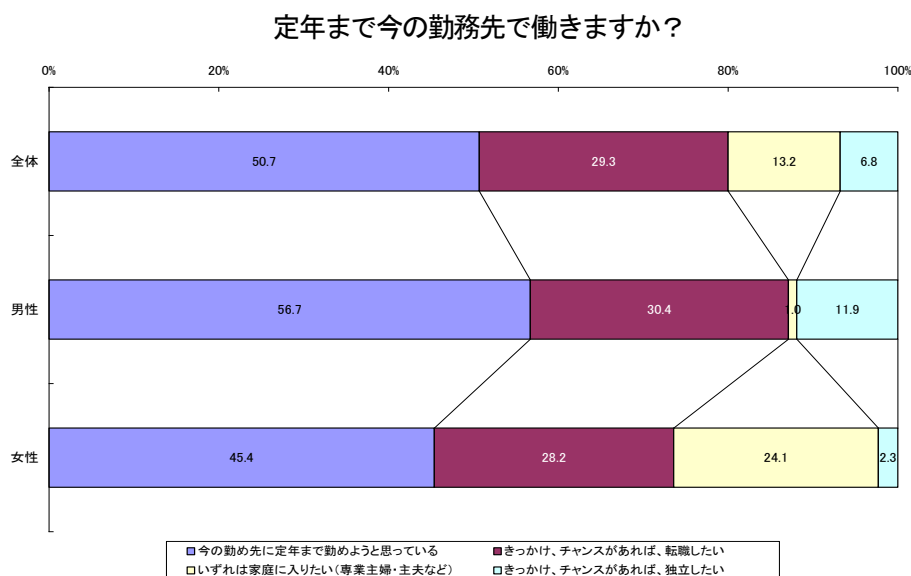
働くことに対する考え方（3つ以内の複数回答）については、「仕事も大事だが個人の生活も大事にしたい」が21.1%（前年比0.1ポイント増）で1位、以下「自己のスキルアップができる仕事がしたい」が20.9%（同1.5ポイント増）と僅差で2位となり「自分の能力を活かせる仕事をしたい」が17.9%（前年と同じ）で3位となった。全体では「ワークライフバランス（仕事と生活の調和）」を重視する傾向にある。男女別の特徴をみると、女性は「自己のスキルアップができる仕事がしたい」と「自分の能力を活かせる仕事をしたい」が男性を上回り、仕事を通じて自己実現を果たしたいという考えが強いことがうかがわれる。



<定年まで今の勤務先で働くか>

○半数が今の勤務先で定年まで働きたい

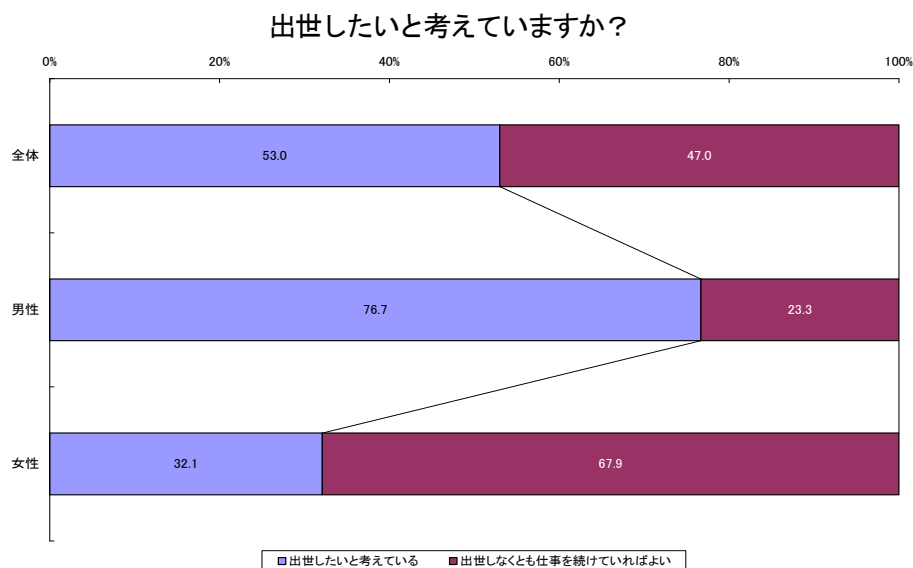
「定年まで今の勤務先で働きたいと考えるか」については、「今の勤務先に定年まで勤めようと思っている」が50.7%と半数を占め、以下「きっかけ、チャンスがあれば、転職したい」29.3%、「いずれは家庭に入りたい（専業主婦・主夫など）」13.2%、「きっかけ、チャンスがあれば、独立したい」6.8%となった。



<出世したいと考えるか>

○男性の出世意欲が上昇

全体では「出世したいと考えている」は53.0%、「出世しなくとも仕事を続けていればよい」は47.0%となり、「出世したい」がやや上回る結果となった。男女別では、男性の76.7%（前年比8.9ポイント増）が出世したいと回答しており、全国的に出世を嫌う傾向にあるなかで大きく上昇しており、出世に対する高い意欲がうかがわれる。

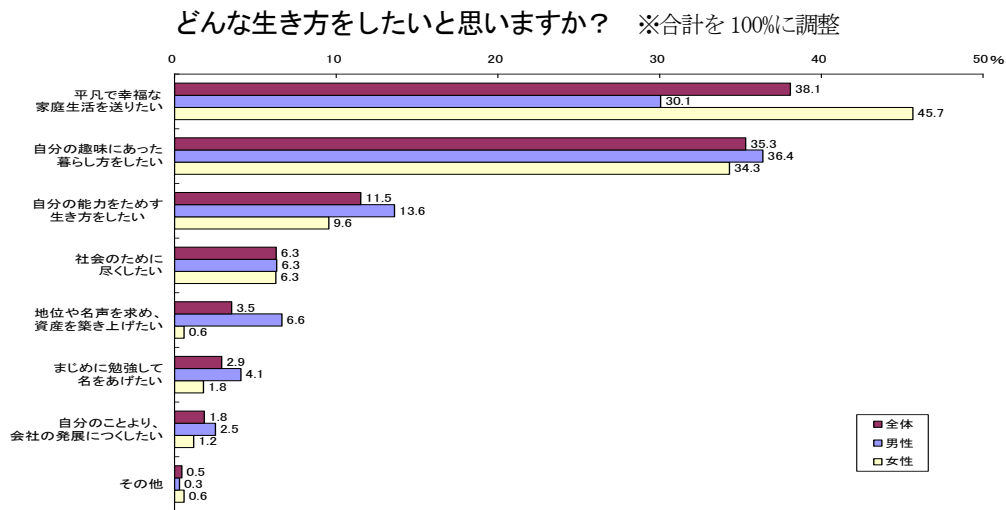


2. 生活観

<理想とする生き方>

○男性は「趣味にあった生き方」、女性は「幸福な家庭」が理想

「生き方」に対する考え方（2つ以内の複数回答）については、「平凡で幸福な家庭生活を送りたい」が38.1%（前年比2.3ポイント減）と最も高く、次いで「自分の趣味にあった暮らし方をしたい」が35.3%（同1.7ポイント減）となった。男性は趣味にあった暮らし方を、女性は幸福な家庭生活を望む傾向にある。

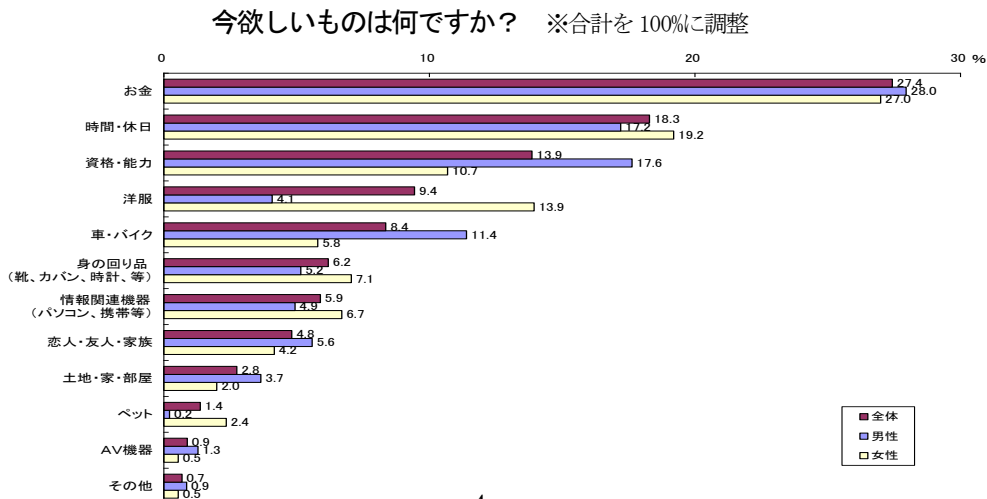


<今欲しいもの>

○「お金」「時間・休日」が上位

今欲しいもの（3つ以内の複数回答）は、1位「お金」、2位「時間・休日」、3位「資格・能力」となり、前年から上位に変動は見られなかった。

男女別では、1位は男女とも「お金」となったが、2位以下は男性が「資格・能力」、「時間・休日」、「車・バイク」となった。「資格・能力」が「時間・休日」を僅かながら上回り、自己啓発に対する意欲的な姿勢がうかがわれる。一方、女性は前年と比べ「資格・能力」の割合が低下し、「洋服」や、パソコン、携帯などの「情報関連機器」が上昇した。

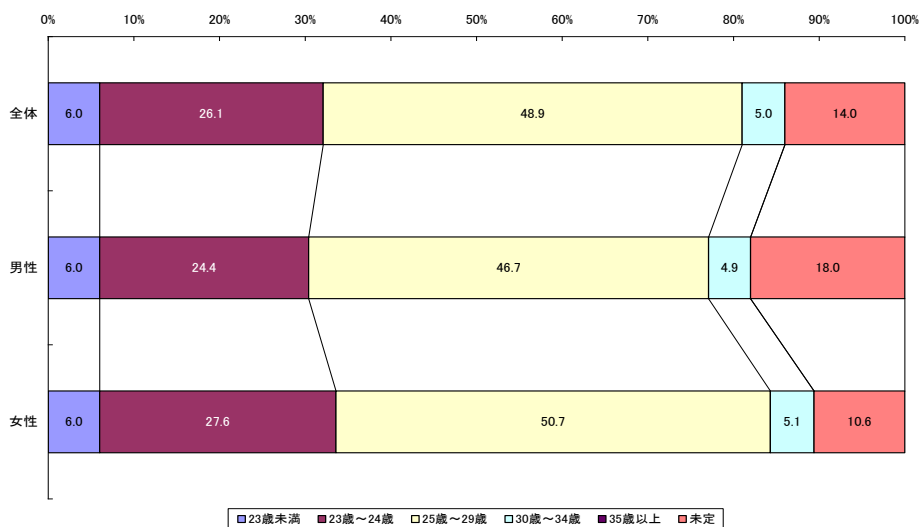


<結婚について>

○8割超が30歳までに結婚を希望

「何歳ぐらいで結婚したいか」という問いに対し、「25～29歳」が48.9%（前年比2.1ポイント増）と最も高く、「23～24歳」が26.1%（同3.7ポイント減）、23歳未満が6.0%（同0.1ポイント減）となり、全体の8割が30歳までに結婚したいと考えている。「30歳までに結婚したい」割合は、震災前の調査では7割前後だったが、震災後に行った過去2回の調査ではいずれも8割を超えていることから、震災をきっかけに新入社員の結婚観が変化したことがうかがわれる。特に今回は「35歳以上」の回答は無く、「30歳～34歳」の割合も減少するなど昨年からの若年化傾向が続いている。

何歳ぐらいで結婚したいと考えていますか？



まとめ

今回の調査結果から、今年の新入社員は仕事と私生活のバランスを重視しながらも自分の能力を高め、仕事に活かしていきたいと考えていることがわかる。

特に男性は出世したいと思う人の割合が増加し、仕事に対して積極的な姿勢を持っていることが特徴である。

一方、女性は結婚後も仕事を続け、家庭と仕事を両立させようとする人が増えており、企業側としては、仕事に対する動機付けや方向性を明確にするとともに、安心して働けるよう職場環境の整備を進めることが必要となっている。

以上